

つどい Walker vol.1

第1回実行委員会 in 東京 2012.01.28~29

〇はじめに

今回の実行委員会はテーマ議論という事で、会場からも活発な意見を頂きました。事務局としても、これまでのつどいの反省点を挙げ改善しよう、これまでとは違う、新たなより良いつどいにしよう取り組みました。いかがだったでしょうか。東京で行われた、「民医連の医療と研修を考える医学生をつどい」第1回実行委員会の様子をお届けします☆

〇実行委員長挨拶

みなさんこんにちは(^^)♪今回、33つどいで実行委員長をやらせてもらいます、弘前大学4年の高橋夏生です。みなさんと一緒に思い出に残るつどいを作っていけたらなあと思っています。頼りないかもしれませんが、何かあればいつでも声をかけてくださいね～。

さて、つどいって何?って方のため、まずはつどいの説明を。正式名称は「民医連の医療と研修を考える医学生をつどい」と言います。8月に本番があるのですが、それまでに5回の実行委員会を行います。実行委員会も含めてつどいです!!

そのつどいとは、民医連の奨学生や、奨学生でないけれど民医連に興味がある医学生が、民医連のことを知り、さらに現在の社会、医療情勢について学び、学生と参加職員さん達はその想いを語りあい交流を深める場です。

初めて参加する方は「難しそうだなあ」なんて思うかもしれませんが、あまり肩肘張ることないですよ!全国各地から来る医学生とお友達(恋人!?)になる良いチャンスなので、気楽に楽しんでほしいと思います(^^)

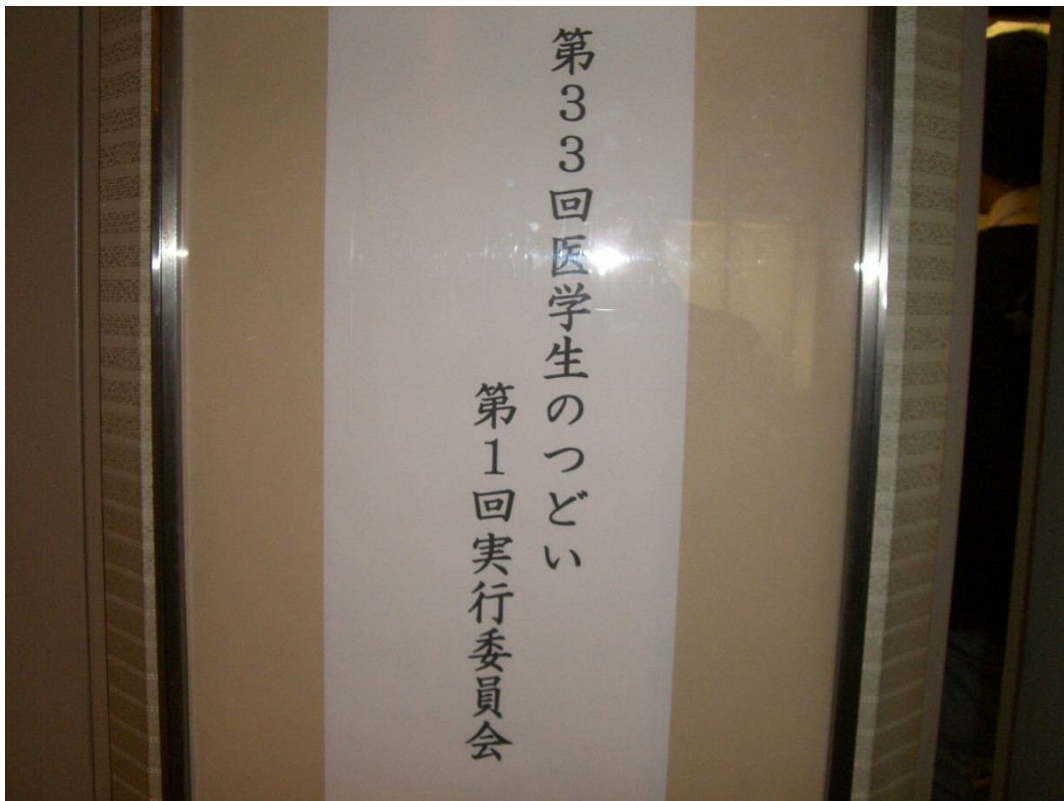
素敵かつどいを作るために大切なのは、つどいを作っていく実行委員自身が「楽しい!(* 彡*)」と思えることです。積極的に楽しんで、思い出に残るつどいを作っていきましょう!!

弘前大学4年 高橋夏生

○つどい Walker とは

つどい Walker とは、夏本番のつどいを作り上げてゆくために年 5 回行われる各実行委員会の報告、簡単な議事録といったところです。「今回の実行委員会ではどこまで議論が進んだのか」を確認し、その中身を知らせることを目的としています。

参加した人が当日の事を思い出せるような、参加できなかった人がその様子をイメージできるような、そんな情報紙を目指しています^^



○第1回実行委員会 タイムテーブル

～1日目～

14:00 開会

14:30 学習講演、SGD

19:00 夕食

21:00 交流会

～2日目～

9:00 SGD

11:30 閉会

○学習講演

講演会では、全日本民医連副会長の今田隆一先生と、福島民医連医学生担当の熊谷智さんにそれぞれ講演していただきました。

今田先生の講演では放射線や原発の基本的な仕組みに始まり、その事を医療者・科学者としてどう捉えるのか、という内容のお話をしていただきました。特に「医学的事実の不確実性とそれによる一人ひとりの多様な事実」という点についての内容では、広島・長崎の原爆や福島の原発事故を受けて、「放射線は科学的に必ずしも悪影響があるとは断言できない」という科学者としての立場をとることもできる一方で、「目の前には確かに困っている患者さんがいる。何とかしなくては」という医療者としての立場をとることもできる。この問題をどう捉えるかには、あなたの医療観、倫理観が問われている、という事を話していただきました。

熊谷さんの講演では、原発事故があった後の福島民医連での実際の対応を話していただきました。福島民医連への電話相談の内容から見る福島県民の方の実情や、被ばくした人にどう向き合っていくのか、というお話をしていただきました。特に、事故直後の議論で「我々は避難しないのか？」という声に対し、福島民医連として「沿岸から来た人など、より直接的なリスクを背負ってしまった人がいる。我々は民医連として、彼らの被災救援に行こう」という方針が固まった思いなどを語っていただきました。

学生からの感想は

「“被ばく”の問題はもちろん、原発事故によって職、家族、住まい、生きがい、夢を失った人々、不安を抱え福島で生きる人々に対して何ができるかという事を考えたいと思いました」(北関東甲信越、2年)

「本当の意味でよりそう医療って何だろうと思いました」(近畿、4年)

「SGDの時間が短い…」(北関東甲信越、3年)

といったものがありました。

今回、タイムスケジュールについては多くの方から調節してほしいとの意見をいただきました。不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。次回以降に改善していく予定です。

○交流会

交流会は参加者が思い思いに話せる時間です。SGD の続きを話したり、昼に話せなかった人としゃべったり。楽しい話からまじめな内容まで、大いに交流できました。

毎回恒例の学年別交流会も盛り上がりましたよ^^



○テーマについて

つどいは毎年、1つのテーマに沿って開催されます。過去には震災、介護福祉、格差、貧困、憲法、地域、在宅など様々なテーマで学習が行われてきました。第1回実行委員会では、さて今年はどんなテーマにしましょうか？という話し合いをしました。

テーマを決定するに当たっては、以下の3つのポイントを重視しています。

- ・自分たちの学びたい関心に合わせて
- ・前回のつどい参加者から出された流れ
- ・社会的な問題、社会からの要請

これに沿い、事務局からは「原発と被爆者医療」というテーマはどうか、と提案しました。その後、「この提案をどう思うか」「自分だったらどんなテーマでやりたいか」など1日目、2日目と通して各班で議論してもらいました。

3月11日の原発事故があって以来、多くの学生が自主的に原発について学び、興味関心を高めてきたようです。中には地協単位で原発についての学習をしていた地域もありました。

テーマを原発にすることについて、学生から出された意見としては「もう学習はしたから、またやるのはちょっと・・・」という学生もいれば、「いくら学んでも、学べば学ぶほどに新しい疑問が出てくる。自分はまだ原発についてよく知らないことも多いからつどいでやれるのなら嬉しい」という学生もいました。また、実際に福島民医連の熊谷さんの講演を聞いて原発・放射能に対する認識が改まったと語る学生もいました。多様な意見が交流できたようです。

実際にどういったテーマにしていくかについては、現在皆さんから頂いた感想や議事録をもとに集約をとっているところです。次の実行委員会までお待ちください☆
と同時に、ぜひ地元の学習活動の中でも仲間や職員さんと語り合ってみてはいかがでしょうか^^ 次回も、活発なご意見をお待ちしております！

○参加者の声

頂いた感想文の中から、いくつかをご紹介します。

「同じテーマでも人によって受け取り方は様々で、意見交流をすることによって自分の意見を改めて知るきっかけになりました。今まで知らなかった事なども多く聞くことができたので、今後自分でもっと深く学んでいきたいと感じました。」(関東、1年)

「全国から医学生が集まり今の問題を話すことを通じて、自分の大学の特異性についても学べて楽しかったです。普段なら話すことのない人と話せたり医療観をみて、大いに学ぶことが出来ました。」(近畿、3年)

○次回の実行委員会は…

3/24(土)~26(月) 第2回実行委員会 in 東京 です！！

講師の先生は、安齋育郎先生(立命館大学 名誉教授)です。

会場でお会いしましょう^^ それではみなさん、ごきげんよう(´・ω・`)／

